



【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	21年末株価
NYダウ	32,944.19	-229.88	-0.69	-1.99	-9.34	36,338.30
NASDAQ	12,843.81	-286.15	-2.18	-3.53	-17.90	15,644.97
日経225	25,162.78	-527.62	-2.05	-3.17	-12.60	28,791.71
上海総合	3,309.75	13.65	0.41	-4.00	-9.07	3,639.78
滬深300 (CSI300)	4,306.52	13.68	0.32	-4.22	-12.83	4,940.37
ハンセン	20,553.79	-336.47	-1.61	-6.17	-12.15	23,397.67
中国企業	7,060.60	-195.22	-2.69	-8.15	-14.28	8,236.35

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は6.2%安と4週続落、上海総合指数は4.0%安

香港市場ではハンセン指数が6.2%安と大幅に4週続落した。ロシアのウクライナ侵攻が続くなか、欧米諸国によるロシア制裁の影響で資源価格や商品価格が上昇し、世界景気が後退するとの警戒感から売りが広がった。米国に上場する中国企業5社が監査基準の厳格化により24年にも上場廃止になる可能性が伝わったことも投資家心理を冷やし、ハンセン指数は約5年8カ月ぶり安値をつけた。本土市場では上海総合指数が4.0%安と3週続落。対ロシア制裁による世界景気の減速懸念から売りが続いた。

今週の展望:香港市場は弱含みの展開か、ウクライナ情勢やコロナ感染拡大が重し

香港市場は弱含みの展開が予想される。先週末までの下落で割安感は強まっているものの、ウクライナ情勢を巡る先行き不透明感が高まるなか、買い戻しの動きは限定的か。中国で新型コロナウイルスの感染が急拡大していることもマイナス材料。各地で実施される都市封鎖による経済損失も膨らみそうで、15日発表の主要経済指標が強い内容だったとしてもポジティブな反応にはなりにくい。米金融政策を巡っては15-16日に開かれるFOMCにも注目が集まる。景気の下振れ懸念が強まるなか、本土市場も弱含みの展開が見込まれる。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 信義光能(00968)	14.66	15.80
2 長江実業地産(01113)	51.60	6.50
3 Link REIT(00823)	64.35	5.41
4 電能実業(00006)	51.60	5.20
5 長江インフラ(01038)	52.10	3.68
6 信義ガラス(00868)	19.64	3.48
7 長江和記実業(00001)	54.55	3.12
8 九龍倉置業地産(01997)	34.75	2.06
9 香港鉄路(00066)	41.00	1.74
10 中銀香港(02388)	27.85	1.46

▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 海底撈国際(06862)	13.68	-20.74
2 李寧(02331)	58.85	-20.04
3 JDドットコム(09618)	211.20	-19.51
4 美团(03690)	135.40	-17.84
5 碧桂園服務(06098)	37.25	-17.68
6 華潤ビール(00291)	51.95	-16.28
7 碧桂園(02007)	5.19	-14.50
8 安踏体育用品(02020)	97.85	-14.17
9 阿里健康(00241)	4.25	-14.14
10 舜宇光学科技(02382)	135.20	-14.10

▼今週の主なイベント

- 3月15日(火)
 - 【中国】小売売上高、鉱工業生産(2月)、固定資産投資(1-2月)
 - 【米国】FOMC(~16日)
- 3月16日(水)
 - 【中国】全国70都市不動産価格(2月)

▼今週の期待材料

- ◆ハンセン指数が4週間で2割近く下落、足元で大きく下落した銘柄には短期的なりバウンドの可能性も
- ◆李克強首相が11日の記者会見でゼロコロナ政策の修正を示唆、厳格な行動制限の緩和で経済との両立進むか
- ◆ロシアとウクライナの停戦合意に期待、停戦合意の可能性が出てきた場合には大きく買い戻される展開も

▼今週の懸念材料

- ◆ロシアによるウクライナへの攻撃が激化、ロシアに対する経済制裁で世界経済も大きなダメージ
- ◆米証券取引委員会が中国企業5社の上場廃止リスクを警告、中国株に対する敬遠ムードが強まる可能性も
- ◆中国で新型コロナウイルスの感染が急拡大、吉林省長春や広東省深センで実質的な都市封鎖を実施

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 長江和記実業(00001): 17日に21年本決算を発表、市場予想は9%増益
- ☆ 電能実業(00006): 16日に21年本決算を発表、市場予想は7%増益
- ☆ チャイナ・テレコム(00728): 21年本決算は23-25%増益の見通し
- ☆ 華潤ガス(01193): 18日に21年本決算を発表、市場予想は15%増益
- ☆ 理想汽車(02015): 14日からストックコネクの南向き取引の対象に追加
- ☆ 李寧(02331): 17日に21年本決算を発表、市場予想は純利益2.1倍
- ★ 世茂集団(00813): 2月の不動産販売額が57%減少、販売面積は54%減
- ★ TCLエレクトロニクス(01070): 21年本決算は67%減益、市場予想下回る
- ★ 華潤セメント(01313): 18日に21年本決算を発表、市場予想は15%減益
- ★ 中国人寿保険(02628): 1-2月の保険料収入が5%減少、2月は3%減

レポートは、株式会社DZHフィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZHが信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZHはその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZHで入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZHは、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZHは一切その責任を負いません。

DZHは、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZHおよびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容についてDZHは一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。